

地域計画

策定年月日	令和6年11月12日
更新年月日	令和 - 年 - 月 - 日 ()
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	日野町 25383
地域名 (地域内農業集落名)	南比都佐地区 (上迫集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	11.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	11.6 ha
② 田の面積	11.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	6.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	8.7 ha
(参考) 区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	6.4 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

- 注1: ①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2: ②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3: ④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4: ⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5: (参考)の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6: 「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

上迫は中山間地であり谷筋の田が多い。平成4年頃に圃場整備がされているものの谷筋の圃場ばかりであるため、長方形に区画された田は無く変形田しかない。基本は水稲作となっている。(一部、出荷用野菜【日野菜】の栽培がある)超湿田で効率が非常に悪く、現在水稲農家は8名で全員60才以上である。※1名を除いて上迫集落営農組合の構成員です。営農組合は中型農業機械を所有しており共同利用を行っている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

超湿田のため稲作以外の栽培は困難であるが、令和4年より有機米栽培のチャレンジを始められた農業者もおり、ひきつづき中山間地農業における農業所得向上を目指す取り組みを検討していく必要がある。谷筋の田は奥の方から管理ができない状況になってきている部分もあり、「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策(多面的支払交付金)」や「中山間地域等直接交付金」を活用しできるだけ保全管理を続ける。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現在の集落営農を維持しながら、すべてを集落営農組合で管理する方向です。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	— %	将来の目標とする集積率	— %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
谷田のなかでも効率が悪い場所は管理をやめる。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
継続して集落での話し合いを行い、目標地図の見直しを行うなかで農地の集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
目標地図に基づいた農地中間管理機構を通じて農地の貸借を進める。
(3)基盤整備事業への取組
農地耕作条件改善事業等の補助事業を活用して効率的な圃場にする。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
集落内には50代の住民が数名いるので引き継いでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
—

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。				
②上迫地区において、圃場に適した有機米栽培を検討していく。				
⑦交付金等を活用し、集落全体で協力しながら保全に努める。				
⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、出荷・調製施設を整備し、農業用施設の集約化を検討していく。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			5年後 (目標年度:令和11年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稲	0.6 ha	0 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	1.6 ha	1.1 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	0.3 ha	0 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	0.4 ha	0.2 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	0.6 ha	0.2 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	0.5 ha	0 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	1.1 ha	0.8 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	1.3 ha	1.1 ha		ha	ha	-	
利用者		水稲	2.3 ha	2.3 ha	水稲	8.7 ha	8.7 ha	桃色	
利用者		保全管理	2.9 ha	ha	保全管理	2.9 ha	ha	緑色	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	10経営体		11.6 ha	5.7 ha		11.6 ha	8.7 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

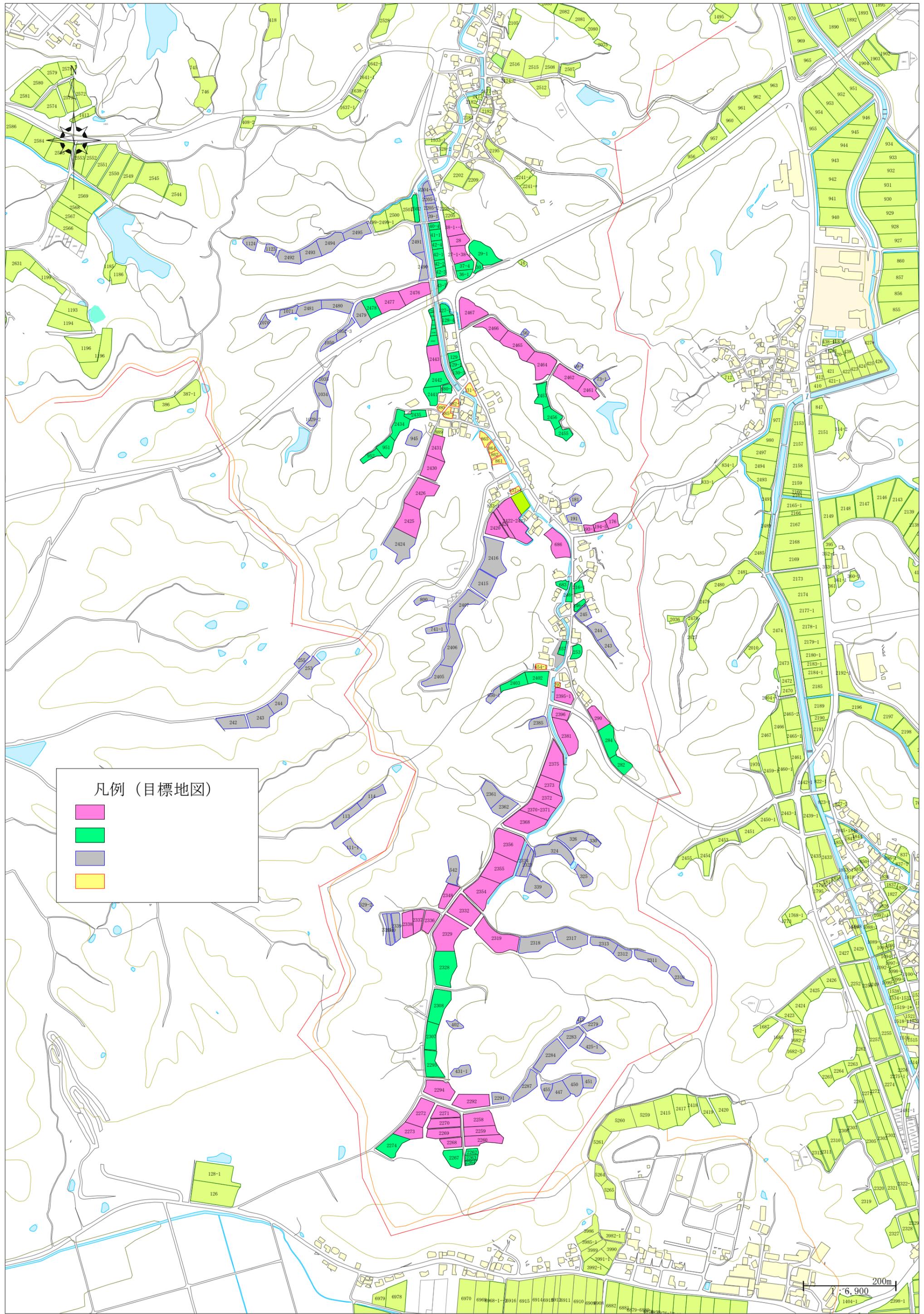
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。



凡例 (目標地図)

200m
1:6,900